

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2004-532109(P2004-532109A)

【公表日】平成 16 年 10 月 21 日 (2004.10.21)

【年通号数】公開・登録公報 2004-041

【出願番号】特願 2002-583338(P2002-583338)

【国際特許分類第 7 版】

C 0 2 F 1/50

A 0 1 N 53/00

A 0 1 N 59/00

A 0 1 N 63/00

A 0 1 N 65/00

C 0 2 F 1/32

C 0 2 F 1/34

C 0 2 F 1/78

C 0 2 F 3/32

C 0 2 F 3/34

C 0 2 F 9/00

【F I】

C 0 2 F 1/50 5 1 0 A

C 0 2 F 1/50 5 2 0 B

C 0 2 F 1/50 5 2 0 P

C 0 2 F 1/50 5 3 1 R

C 0 2 F 1/50 5 4 0 A

C 0 2 F 1/50 5 5 0 C

C 0 2 F 1/50 5 5 0 D

C 0 2 F 1/50 5 5 0 H

C 0 2 F 1/50 5 6 0 B

C 0 2 F 1/50 5 6 0 C

C 0 2 F 1/50 5 6 0 H

A 0 1 N 53/00 Z

A 0 1 N 59/00 A

A 0 1 N 63/00 F

A 0 1 N 65/00 A

A 0 1 N 65/00 C

C 0 2 F 1/32

C 0 2 F 1/34

C 0 2 F 1/78

C 0 2 F 3/32

C 0 2 F 3/34 Z

C 0 2 F 9/00 5 0 1 Z

C 0 2 F 9/00 5 0 2 H

C 0 2 F 9/00 5 0 2 N

C 0 2 F 9/00 5 0 2 Q

C 0 2 F 9/00 5 0 2 R

C 0 2 F 9/00 5 0 3 A

C 0 2 F 9/00 5 0 4 A

【手続補正書】

【提出日】平成17年1月17日(2005.1.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

水を水域から供給管にポンプで送り込むステップ；

供給管に沿った複数の注入場所にて、その中の望ましくない微生物の濃度を小さくするのに十分な量のオゾンを入力するステップ；

前記水を付着藻類のコロニーの入口端部に送るステップ；および

前記藻類のコロニー上に前記水を流して望ましくない物質をそこから除去するステップを含む水処理方法。

【請求項2】

処理すべき水を、その中の望ましくない微生物の濃度を小さくし且つ利用可能な栄養素をそこから開放するのに十分な量のオゾンにさらすための手段；

オゾンにさらされた水から望ましくない物質を除去するための付着藻類のコロニー；及び

オゾンにさらされた水を、水をオゾンにさらす前記手段から前記藻類のコロニーに送るための手段、

を備えた水処理システム。

【請求項3】

藻類コロニーの下流にて水をオゾンにより処理するための手段をさらに備える、請求項2に記載のシステム。

【請求項4】

水をオゾンにさらす前記手段が、

入口端部と出口端部を有する供給管；

水を水域から抽出して供給管の入口端部に入れ、抽出した水を藻類コロニーの入口端部にポンプで送るように配置されたポンプ；及び

オゾンを供給管に注入するための手段

を含む請求項2に記載のシステム。

【請求項5】

処理すべき水を、その中の栄養素を酸化して付着藻類のコロニーによる生物同化作用の影響を受けうる形態にするのに十分な量のオゾンにさらすステップ、及び

付着した藻類を含むフローウェイ(floway)上に前記水を流して酸化された栄養素をそこから除去するステップであって、該藻類は、酸化された栄養素の生物同化作用の際に強い光合成作用を経験する前記ステップ、

を含む水処理方法。

【請求項6】

前記栄養素がタンニン及びフミン化合物を含む請求項5に記載の方法。